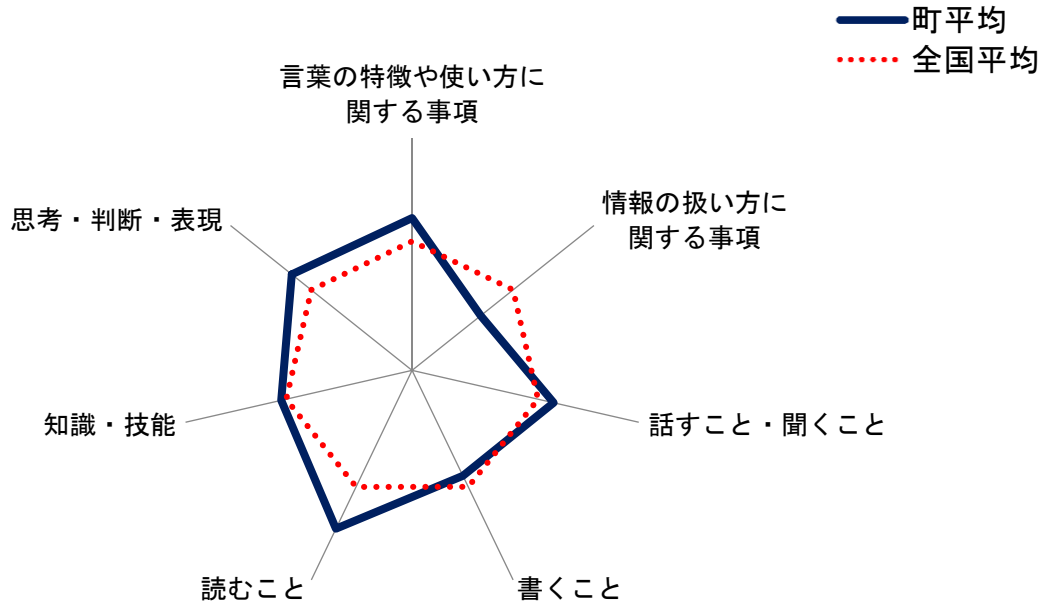
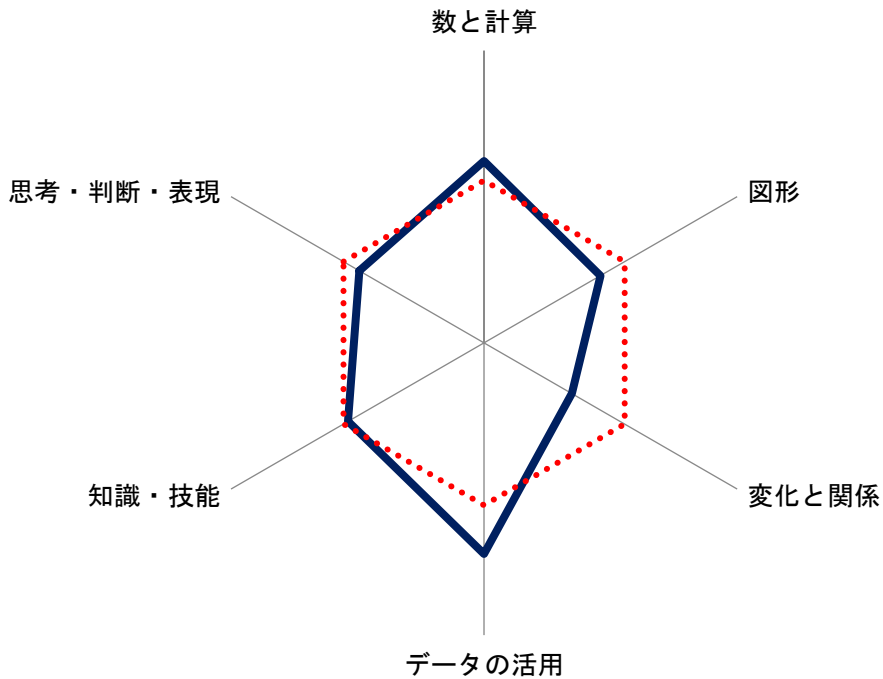


○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

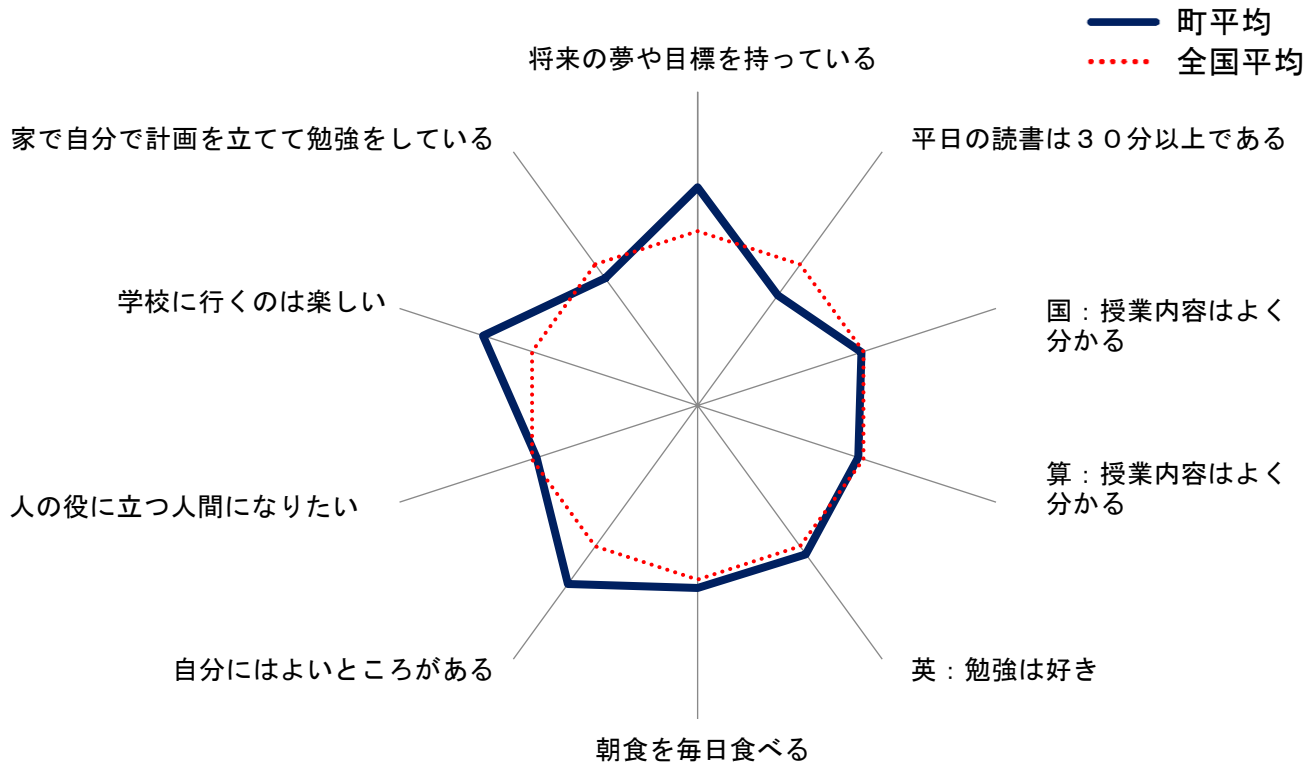
【国語】



【算数】



○ 児童質問紙調査 (全国の平均回答率との差：肯定的な回答)



○ 結果の分析と改善策

教科に関する調査では、国語の「読むこと」「言葉の特徴や使い方に関する事項」の項目が全国平均を大きく上回っているが、算数の「変化と関係」の項目が全国平均を大きく下回っており、基礎的な知識及び技能の定着に課題が見られる。今後は、これまで培われてきた愛媛教育のよさと適切なICTによる教育を効果的に組み合わせることで、より質の高い授業改善に取り組んでいくことが望まれる。

児童質問紙調査では、「将来の夢や目標を持っている」「学校に行くのは楽しい」「自分にはよいところがある」などの項目が前回調査に引き続き全国平均を上回っており、一人一人を大切に、自己肯定感を高める教育活動が推進されている成果がうかがえる。一方、「家で自分で計画を立てて勉強をしている」「平日の読書は30分以上である」の項目が全国平均を下回っている。今後は、主体的に学習に取り組む態度や読書に親しむ態度の育成に向けた取組の推進が一層望まれる。